

令和6年度第2回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 令和6年6月27日（木） 午前10時～午前11時25分
2. 開催会場 印西市文化ホール 大会議室
3. 出席者 志村はるみ委員長職務代理者、市場勝巳委員、岡野誠委員、小林宏委員、安倉史典委員、藤澤進委員、奥田信康委員、市川弘委員、棚橋明委員（以上9名）
4. 事務局 市民活動推進課・伊藤課長、鈴木課長補佐、本田係長、諫見主事
5. 傍聴者 0名（定員5名）
6. 会議内容
 - 1 開会
 - 2 議題
企画提案型協働事業（令和5年度実施分）の評価について
 - ・提案1 体力回復のための産前産後ケア教室事業
 - ・提案2 やさしい日本語及び中国語による「広報いんざい」の発行事業
 - ・提案3 グリーンカーテンでゼロカーボン
「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」
 - ・提案4 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業
 - 3 その他
 - 4 閉会

7. 会議要旨

（1）企画提案型協働事業（令和5年度実施分）の評価について

《事務局説明》企画提案型協働事業（令和5年度実施分）の評価について、業務完了報告書及び参考資料、協働の機会提案書、事後評価シート（比較表）を用いて提案ごとに説明。あわせて、事前にいただいた質問及び意見について回答。またその場でも質疑応答対応。

《委員質問・検討》

提案1について

委員：資料2－提案1・4Pの団体からの継続意向がなかったとはどういうことか。

事務局：令和5年度の企画提案型協働事業の提案期日までに、産前産後ケア INZAI から書類をいただけませんでした。そのため、今年度は企画提案型協働事業を実施しておらず、市の方で同様の事業を実施しています。

委員：資料1－提案1・8Pのバランスボールの所有権は？

事務局：所有権は事業者です。扱いは備品ではなく、耐久消耗品扱いになります。

委員：竹袋調整池の事業では鎌の購入代を団体で負担している。物によって市が負担するのか、団体が負担するのか変わっているが、どういう扱いなのか。

事務局：団体が鎌を購入しているかは、こちらは把握できていません。しかし基本的にどれを耐久消耗品扱いで委託料として認められるかは、担当課や財政課と検討したうえで、昨年度委員の皆さんにも審議していただいています。そのうえで令和4年度に採択されたものと解釈しています。

委員：潜在ニーズのある事業と考えられる。今年度は市が単独で同様の事業を実施しているとのことだが、そちらの将来予測としては具体的にどういったものがあるのか。

事務局：この提案については一年空いて今年度提案しており、2年目（2回目）となることからアイデア審査免除となっております。そのため、最終審査前に事前協議のチェックシートが子ども家庭課より上がってくる予定です。その時にわかることだと考えています。

委員：資料2－提案1・Q12の団体側が打ち合わせ事項を記録に残していないとのことだが、残したほうが良いのではないかな。

事務局：そういった意見があったということを、団体や担当課の方にも伝えさせていただきます。

委員：意見があったとかではなく、そうするように団体に指導したほうが良いのではないかな。

事務局：企画提案型協働事業は委託なので、記録に残さないという形にした場合、事業者が残さなかった場合には、ペナルティを課することになります。どこまで細かく決めるかといった問題も生じてくると思います。

別の委員：担当部署が記録していて、それを共有していれば問題ないのではないかな。

事務局：共有していれば問題ないということを団体や担当課に伝えさせていただきます。

提案2について

委員：提案2について、軌道に乗ったら市の事業としてやっていくという話もあった。またどの程度のニーズがあったのか調査してほしい。

事務局：今年度は企画提案型協働事業ではなく、謝礼支払いという形で事業継続しています。ニーズの調査に関しては、そういった意見があったということを、団体や担当課の方にも伝えさせていただきます。

委員：外国人全体の課題や多言語のニーズも把握したほうが良いのではないかな。

事務局：そういった意見があったということを、団体や担当課の方にも伝えさせていただきます。

提案3について

委員：苗を配布した後の感想やその後の経過も吸い上げたほうが良いのではないかな。アンケートとかそういったもので把握できれば、事業とのつながりや広がりも出てくるのではないかな。コンテストの成果をフィードバックし、市民のやる気を起こす働きかけをできると良いと思う。

事務局：そういった意見があったということを、団体や担当課の方にも伝えさせていただきます。

委員：印西市はゼロカーボンシティ宣言を行っているが、政策とこの事業はどういう風につながっているのか説明をいただきたい。

事務局：みんなのいっぽは、今年度も提案がありましたので、その際に指定テーマを掲げている環境保

全課より説明することとなります。

委員：グリーンカーテンがどのくらい効果があるのか疑問だ。マンションでは使えないし、散歩をしていても見かけたことがない。効果を示すような具体的なデータが欲しい。

別の委員：よく頑張っている。提案者をねぎらってあげたい。称賛に値する。

委員：小学校への出前講座等で、数字で示せるような分かりやすい資料を提供してあげるなどしてほしい。

事務局：この事業で実際どの程度 CO2 が削減されたかを、データで示すことは難しいと思います。しかし事業報告書からわかる通り、出前講座を行っているのでその際に、グリーンカーテン自体の効果を示す資料や数字を示す資料を使って、啓発しているということは考えられます。事務局としてはあくまでこの事業は、啓蒙活動に重点を置いていると解釈しています。

提案 4 について

委員：調整池の土砂の堆積が心配である。提案者の構成員の高齢化も心配である。担当部署で他の方法で、管理できないか。調整池の管理は土木管理課で周辺地域の管理は都市整備課となっているのはどうだろうか。同じ課で管理したほうが良いのではないか。

事務局：今のところ、同じ課で管理するのは難しいという判断となっています。

委員：資料 1－提案 4・1 2 P について。提案 1 のバランスボールは委託料を支払っているのに、草刈り機は無償機材扱いなのはどうか。

事務局：団体が、無償機材として提供すると記載したからです。それを、こちらが委託料を支払うというのは難しいと考えます。

委員長職務代理者：企画提案型協働事業は、双方の強みを生かすもの。団体側が機材や、草刈りのノウハウを提供するのは自然なことのようにも感じる。

事務局：先ほども説明させていただいた通り、どの機材を委託料として認められるかは前年度審議させていただいています。それも含めて令和 4 年度に採択されたものと解釈しています。

委員：来場者数を把握したほうが良いのではないか。把握できたなら、その後の事業に生かせるのではないか。

事務局：来場者数の把握はしておりません。コスモス祭りなどのイベントの来場者数は把握していると思いますが、そちらは事業外となっています。

委員長職務代理者：あくまでこの事業は維持管理が目的であって、来場者数の把握は事業外のことではないか。

別の委員：NPO を運営している立場からすると、人数を数えるための人を配置しなければいけなくなり、団体にとって非常に負担になる。そのための人件費もかかることになる。

委員：これくらいきれいになったから、これくらい人が増えたという費用対効果を示すべきではないか。

事務局：そういった意見があったということを、団体や担当課の方にも伝えさせていただきます。

（２）その他

《事務局説明》

令和５年度印西市市民活動支援センター指定管理者事業報告書、令和６年度印西市市民活動支援センター指定管理者事業計画書、市民活動団体紹介冊子を配付した。

以上

令和６年６月２７日に行われた、印西市市民活動推進委員会の会議録は事実と相違ないので、これを承認する。

令和６年７月９日

会議録署名委員 委員長職務代理者 志村 はるみ